

闘虎

No. 33 Wrestling

群馬県レスリング協会広報紙
平成25年 冬季号



松本篤史



吉井瑞江



福田 翼



山本 悟VS亀山晃寛

痛恨の準優勝、歓喜の準優勝！

天皇杯全日本レスリング選手権大会

12月21～23日、代々木第2体育館において「天皇杯全日本レスリング選手権大会」が行われた。岐阜国体で復活の優勝を飾った松本篤史（千代田jr一館高一日体大ーALSO K）は、準決勝まで順調だったが、決勝で仇敵・松本真也（警視庁）に2P「ラスト10秒の不覚」で惜敗。しかし相手はベテランだけに、若い松本篤史の巻き返しに期待したい。また、女子72kg級では同階級第一人者の浜口京子不在の中、吉井瑞江（富実高一至学館大）が初の決勝戦進出。決勝では敗れたものの、ファイナルまで進んだことは大きな自信。「ポスト京子」として期待される。吉井と同じ富実出身の福田翼（富実高一拓大ー群馬県警）は初戦で元全日本王者を倒してのベスト8。さらに、2回戦では山本悟（西邑楽一日体大ー館商工教員）VS亀山晃寛（千代田jr一館大泉高一山梨学院大2年）という「群馬対決」が見られた。

◆発行／群馬県レスリング協会会長 柳川益美 ◆編集／群馬県レスリング協会広報委員会

クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

第33回

太田市立商業高校



恵まれてる練習環境！
また団体でインハイへ！

2年 主将 柴崎 由貴

太田商業高校レスリング部は、OBに小菅英夫先輩（あかぎ国体60kg級優勝）や石井英明先輩（あかぎ国体75kg級優勝）など多数の優秀な選手を輩出している創部32年の歴史ある部です。

現在、2年生が5人、1年生が1人の少数で活動をしています。指導者は、顧問の大河義則先生と長島正彦コーチです。大河先生は、監督としてとても熱心で丁寧に指導してくださいます。長島コーチは、基本的な技術や構えを中心に指導をしてくださいます。技を覚えるたびに「新しい技を覚えられた」という喜びと「この技を試合で発揮したい」という気持ちになります。

日々の練習内容は、朝練習はランニングで息上げをしてから、懸垂や綱のぼりをして体力等を鍛えています。午後練習は、マットで技術練習や打ち込みをして、その後スパarringと体幹等の筋トレをします。火曜と木曜は、隣のマットでおたスポーツアカデミーが練習をするので、その先生方からも指導していただくことがあります。とても恵まれた環境なので、部員一同切磋琢磨し、25年度はインターハイ出場が目標です。

SCHEDULE

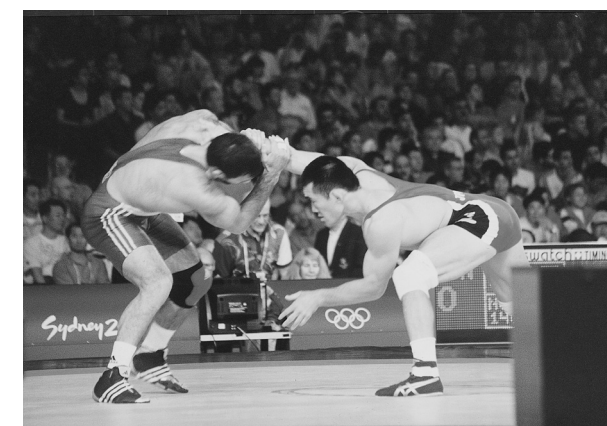
■全国少年少女選抜大会
3月9日（土）・10日（日）
青少年オリンピックセンター

■全国高校選抜大会
3月27日（水）～29日（金）
新潟市体育館

■ジュニアクイーンズ
カップレスリング大会
3月31日（日）
駒沢オリンピック公園体育館

■JOCジュニア
オリンピックカップ
4月27日（土）・28日（日）
横浜文化体育館

■群馬県高校総体
5月10日（金）～12日（日）
館林市民体育館

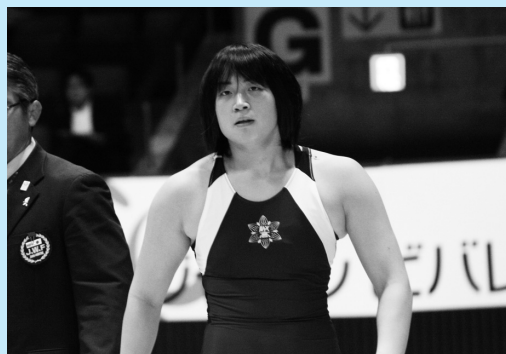


川合 達夫さん（明和町・39歳）

レスラーの
思い出の一葉

□この写真は、私にとってアトラクタに続く2度目のオリンピック出場となったシドニー五輪（2000年）での1枚です。オリンピックではいい試合はできませんでしたが、翌年私の最後の出場となったブルガリアでの世界選手権が最も印象に残っています。試合前、イランの選手から「お前はいい選手だ。相手の頭を強く落としてダブルレッグに入れ。お前ならできる」「ヨーロッパの選手は片足タックルのカウンターを狙ってくる。両足ならレッグホールドはかけられない」。このようにアドバイスされ、死にもの狂いで攻めました。その結果、世界のトップ選手を倒しました。思い切り攻めると意外とバテないものです。今までの一番いい試合でした。レスリングは世界の共通言語です。こんな素晴らしいレスリングの経験を、これからの選手たちへ伝えていきたいと思っています。

HEROINE'S IN GUNMA



吉井 瑞江 選手 (至学館大学)

全日本選手権は、浜口京子さんが出ないと知って、こんなチャンスめったにない、ものにしようと思って臨みました。準決勝で勝って、決勝進出を決めたときは「やっとここまで来たんだ!」という思いでした。その時点で少し喜びすぎたのかも。決勝では、ケガのせいにはしたくありません。力の差、完敗です。次の目標は全日本選抜とユニバーシアード大会で勝つ!ことです。

- 優勝者は次のとおり。
- 【小学5〜6年女子】◆+50[□]級 小森奏音(邑楽)
- 【中学男子】◆47[□]級 寺田有輝(千代田)
- 【中学女子】◆64[□]級 鈴木芽衣(OSA)
- 群馬県中学生レスリング選手権大会優勝者
- 【男子】◆38[□]級 高橋幸大(邑楽)
- ◆42[□]級 江田健二郎(館林)
- ◆47[□]級 寺田有輝(千代田)
- 53[□]級 齊藤浩司(OSA) ◆59[□]級 小松崎脩司(OSA) ◆66[□]級 杉田周平(OSA) ◆73[□]級 高橋友希(千代田) ◆110[□]級 柴塚兵吾(大間々)
- 【女子】◆46[□]級 杉山絢海(邑楽)
- ◆52[□]級 増山汐音(千代田)
- ◆64[□]級 鈴木芽衣(OSA)

- 2月24日(日)、城沼総合体育館において「第21回関東甲信越少年少女レスリング大会」が行われた。地元・館林jrのエース・江田健二郎は準優勝、また、「2階級分、2学年分の全国1〜3位」が集まった熾烈な階級の「小学女子3〜4年40[□]級」で、全国王者・石井亜海(OSA)は準優勝、藤倉優花(邑楽)は第3位など、左の優勝者のほか、本県から第2位は5人、そして21人もの選手が第3位入賞を果たした。
- 【中学・高校女子】◆60[□]級 鈴木芽衣(OSA)
- 【中学生男子】◆95[□]級 横倉朝生(千代田)
- 【小学5・6年生女子】◆+56[□]級 小森奏音(邑楽)

寺田有輝と持田直樹が 関東ブロックで優勝! JOC関東地区予選

12月25日(火)、富士緑の休暇村体育館(山梨県)において「JOC関東ブロック予選会」が行われた。4月のJOC本戦の出場権を賭けた大会で、寺田有輝(館高)と持田直樹(太商)が優勝、ほか次のとおり入賞者が出た。

【ジュニア】◆50[□]級 ①寺田有輝(館高) ◆55[□]級 ②増山郁人(館高) ◆60[□]級 ②関谷大孝(館高)

◆74[□]級 ①持田直樹(太商) ◆96[□]級 ②柴崎由貴(太商) ◆120[□]級 ③和田秀樹(富実) ③平山燎(大泉)

【カデット】◆46[□]級 ③川島裕紀(関学) ◆50[□]級 ②関野魁童(館高)

寺田有輝が激戦区制し 最優秀選手賞に輝く! 千代田町近接少年大会

12月1日(土)、千代田町総合体育館において「第18回千代田町近接少年レスリング大会」が行われた。予選リーグを突破し、決勝トーナメントに進むと自体難しい大会で、千代田jrのエース・寺田有輝が見事優勝、MVPを獲得した。千代田jrは団体(中学生の部)でも第3位に入賞した。

◆58[□]級 ③萩本龍(館高) ◆63[□]級 ①櫻井大輝(館高) ③齋藤隼佑(同) ◆69[□]級 ③田口拓海(館高) ③木村優太(同) ◆85[□]級 ②勅使河原延明(前西)



決勝戦でAACCの選手を倒した寺田有輝

松本篤史米国で強化! 粘闘で銅メダル獲得! デーブシユルツ国際大会

2月に米国遠征した松本篤史(ALSOK)は「デーブシユルツ記念国際大会」フリー84[□]級に出場。2回戦でクレイトン・フォスターに敗れたが、敗者復活戦3試合を勝ち抜いて3位決定戦へ。フォスターとの再戦を制し、アメリカで層の厚い84[□]級で見事、銅メダルを獲得した。

鈴木芽衣、宿敵倒す! 江田健二郎は準優勝! 関東甲信越少年大会

戦力充実の館高が14年ぶり決勝進出!

関東高校選抜レスリング大会

2月2・3日、上尾市運動公園体育館において「第39回正田杯関東高校選抜レスリング大会」が行われた。個人戦では、萩本龍(館林)ら3選手が第3位入賞を果たし、団体戦では、戦力充実の館高が、準決勝で昨年のインターハイ優勝校・花咲徳栄を5-2で破り決勝進出。決勝では霞ヶ浦に2-5で敗れたものの、館高の決勝進出は全国4冠兄弟・長島正彦・和幸擁した平成11年以来14年ぶり。全国選抜でも上位入賞が期待される。



関東選抜団体戦で霞ヶ浦高と決勝を争った館高メンバー

木村智洋MVP獲得! 邑楽jrの6選手優勝!

館林市スポ少クラブ交流大会

1月14日(月)、城沼総合体育館において「館林市スポーツ少年団レスリングクラブ交流大会」が行われた。関東一円から多数のクラブが参加した中、本県選手10人が優勝、うち6人が邑楽jrの選手が占めた。MVPは地元・館林jr期待の俊英、木村智洋が獲得した。

優勝者は次のとおり。

【中学生】◆38[□]級 木村智洋(館林) ◆42[□]級 高橋幸大(邑楽)

◆66[□]級 杉田周平(OSA)

【5〜6年男子】◆30[□]級 田口凌(邑楽) ◆51[□]級 石川弘人(邑楽)

【5〜6年女子】◆D 小林奏音(邑楽)

個人戦5位以内入賞し、全国選抜出場を決めた選手は次のとおり。

◆50[□]級 ⑤寺田有輝(館高)

◆60[□]級 ③萩本龍(館高) ◆66[□]級 ⑤櫻井大輝(館高) ⑤木村優太(同) ◆74[□]級 ⑤持田直樹(太商) ◆84[□]級 ③勅使河原延明(前西) ◆96[□]級 ⑤柴崎由貴(太商) ◆120[□]級 ③平山燎(大泉)

今村直樹鉄壁のV8! 杉山健も娘の眼前でV! 全日本マスターズ選手権

1月13日(日)、国立オリンピック青少年センターにおいて「全日本マスターズレスリング選手権大会」が行われた。連勝中の今村直樹が今年も優勝、V8に記録を伸ばした。

【41〜45歳】◆85[□]級 ①今村直樹(滝田道場)

【56〜60歳】◆76[□]級 ①杉山健(邑楽jr)



最優秀選手賞のトロフィーを手にする木村智洋

【3〜4年】◆24[□]級 加藤敦史(館林) ◆39[□]級 石井亜海(OSA)

【1〜2年】◆20[□]級 田口利奈(邑楽) ◆32[□]級 高橋梨(邑楽)

なでしこGUNMAのレスクイーン



富岡実業高校
平井 美帆さん(1年)

理科の先生に誘われてレスリング部の見学に行きましたが、先輩の練習を見て「カッコいい!」と思い私も始めました。入部して、いろいろな人に対しての気配りができるようになったり、大きな声であいさつができるようになったと思います。それに、多くの大会に出場して他県の人と仲良くなれたり、福岡県に行っておもしろい物が食べられたことがよかったです。尊敬する人は、いつもスパリングをしてくれる清水真理子先生です。目標はまず県大会で1勝。将来は、レスリングで学んだ社会常識や礼儀を生かし、人の役に立つ仕事に就きたいと思っています。